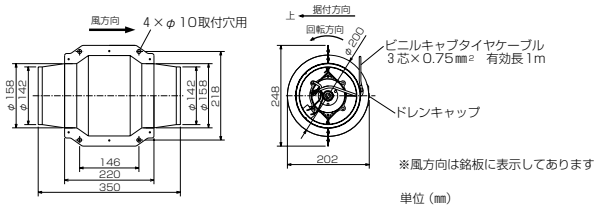
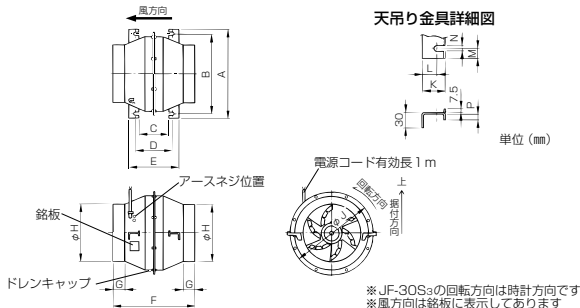
MITSUBISHI

1103874HJ7402

斜流ダクトファン

形　名

JE-15S3
JF-30S3・65S3・80S3・100S3・150S3・200S3・250S3
JF-80T3・100T3・150T3・200T3・250T3・350T3・450T3・550T3（標準形）
JFU-30S3・65S3・80S3・100S3・150S3・200S3・250S3
JFU-80T3・100T3・150T3・200T3・250T3・350T3・450T3・550T3（消音形）
据付工事・取扱説明書

お客さまへ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用 / 産業用換気送風機修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

工事店さまへ

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
据付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。
電気工事は有資格者である電気工事士の方が実施してください。

■この製品には単相製品と３相製品があります。電源を確認して据付工事を行ってください。

■据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

お客さまへ　工事店さまへ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

お客さまへ

⚠警告

水ぬれ禁止

製品を水につけたり、水をかけたりしない
ショートや感電の原因。

分解禁止

どんな場合でも改造はしない
分解修理は修理技術者以外の人は行わない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買上げの販売店または当社の「三菱業務用 / 産業用換気送風機修理窓口・相談窓口」にご相談ください。

接触禁止

運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない
けがの原因。

電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は、製品には絶対にふれない
突然運転し始めてけがや感電の原因。

ぬれ手禁止

ぬれた手で操作をしない
感電やけがの原因。

指示に従う

お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

⚠注意

禁止

製品に異常な振動が発生した場合は使用しない
製品・部品の落下によりけがの原因。

指示に従う

長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る
絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。

工事店さまへ

⚠警告

禁止

爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない
爆発や火災の原因。

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。

燃焼器具の排気ダクトには据付けない
火災の原因。

指示に従う

煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの給気口を設置する
一酸化炭素中毒を起こす原因。

厨房の排気には使用しない
火災の原因。

メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける
漏電した場合、発火の原因。

漏電ブレーカを必ず設置する
漏電のときに感電の原因。

保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

アース確認

アース工事は必ず有資格者である電気工事士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意

禁止

直接炎があたるおそれのある場所には据付けない
火災の原因。

温度−10℃〜+40℃を超える空気を製品内に通さない
故障の原因。

湿度 90%以上の空気を製品内に通さない
感電や火災の原因。

製品は屋外など雨のあたる場所や浴室など湿気の多い場所（湿度 90%以上）には据付けない
感電や火災の原因。

指示に従う

製品の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によりけがの原因。

電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない　又、電源電線の結線部分は JIS C 8340 の「電線管用金属製ボックス」内にて行う
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

開梱・据付け・取付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。

2 据付け前のお願い

工事店さまへ

規　制

●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなければならないよう義務づけられていますので、２mの鋼板立上がりダクトを取付ける（φ 150 以下の場合のみ）か、煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
●配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

注　意

●製品の使用条件は、本体周囲・搬送空気ともに温度− 10℃〜＋ 40℃、常温において相対湿度 90%以下です。この範囲を超えますと、焼損・変形・回転不良・破損につながるおそれがあります。
●本製品は耐湿用途および油煙の排気にはご使用できません。

お願い

●据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けないでください。
・40℃以上になる場所　・− 10℃以下になる場所　・氷結するおそれのある場所
・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所　・ほこりや油煙の多い場所　・結露するおそれのある場所
●ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつけ、先端にウェザーカバー（市販品）などを据付けることをおすすめします。
●次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）
●極端な曲げ　●多数の曲げ　●吹出口のすぐそばでの曲げ　●しぼり

3 外形寸法図

工事店さまへ

■ JE-15S3

■ JE-15S3 を除く標準形（JF タイプ）

変化寸法表（標準形）　単位（㎜）

形　名	電源コード	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
JF-30S3	A	340	300	80	113	170	280	50	200	300	45	28.5	20	11	12
JF-65S3	A	389	349	128	161	218	350	51	250	360	45	28.5	20	11	12
JF-80S3	A														
JF-80T3	B														
JF-100S3	A	450	410	144	177	234	400	55	300	430	45	28.5	20	11	12
JF-100T3	B														
JF-150S3	A														
JF-150T3	B														
JF-200S3	C	543	490	136	198	261	434	48	323	515	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-200T3	B														
JF-250S3	C														
JF-250T3	B														
JF-350T3	D	583	530	218	280	343	500	62	400	555	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-450T3	D	713	660	256	318	381	600	57	500	685	62.8	31.8	26.5	13	26.8
JF-550T3	D														

電源コード　A：ビニルキャブタイヤケーブル２芯× 0.75 ㎜^{2}
B：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル３芯× 0.75 ㎜^{2}
C：ビニルキャブタイヤケーブル２芯× 1.25 ㎜^{2}
D：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル３芯× 1.25 ㎜^{2}

■消音形（JFU タイプ）

変化寸法表（消音形）　単位（㎜）

形　名	電源コード	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R
JFU-30S3	A	360	320	627	660	706	790	50	200	274	300	30	34	17.5	11	20	7.5
JFU-65S3	A	417	377	689	722	768	860	51	250	331	360	40	34	17.5	11	20	7.5
JFU-80S3	A																
JFU-80T3	B																
JFU-100S3	A	478	438	722	755	801	910	55	300	392	430	50	34	17.5	11	20	7.5
JFU-100T3	B																
JFU-150S3	A																
JFU-150T3	B																
JFU-200S3	C	593	540	748	810	866	980	48	323	477	515	75	55	24	13	26.5	11.3
JFU-200T3	B																
JFU-250S3	C																
JFU-250T3	B																
JFU-350T3	D	633	580	788	850	906	1010	62	400	517	555	60	55	24	13	26.5	11.3
JFU-450T3	D	763	710	858	920	976	1110	57	500	647	685	75	55	24	13	26.5	11.3
JFU-550T3	D																

電源コード　A：ビニルキャブタイヤケーブル２芯× 0.75 ㎜^{2}
B：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル３芯× 0.75 ㎜^{2}
C：ビニルキャブタイヤケーブル２芯× 1.25 ㎜^{2}
D：特殊耐熱ビニルキャブタイヤケーブル３芯× 1.25 ㎜^{2}

4 据付方法

工事店さまへ

1. 据付け前の準備

⚠注意

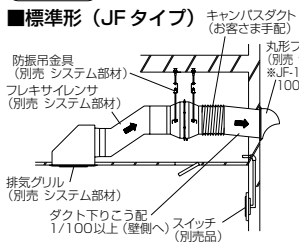
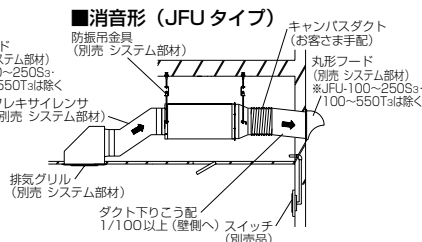
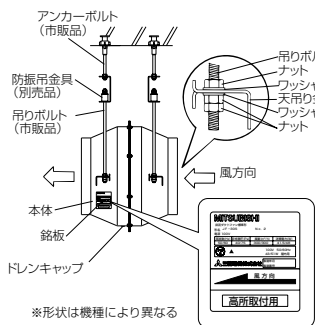
開梱の際は手袋を着用する。
端面などでけがをする原因。

お願い

●据付け、運搬作業の際、羽根を変形させないよう十分注意してください。
羽根が変形しますとバランスがくるい、振動・異常音発生などの原因となります。
●吸込側には羽根にほこりが付着しないように、フィルタのご使用をおすすめします。
（フィルタの選定には種類・メーカーにより圧力損失が異なり風量低下をまねくおそれがありますので十分注意してください）
●天井埋込取付けの場合、羽根・モータ等の交換作業の際、製品を天井より下ろす必要がありますので、製品サイズに合った点検口を設けてください。

4 据付方法 つづき

工事店さまへ

据付例

■標準形（JF タイプ）　■消音形（JFU タイプ）

2. 本体の据付け

1. 外形寸法図を参照し強固な据付場所に市販のアンカーボルトを埋め込む。（据付例参照）
2. 本体が水平になるように本体を吊りボルトに据付け、下表を参照して市販のワッシャ・ナットにて締め付ける。

形　　名	ボルト・ナット・ワッシャ
JE-15S$_3$	M8
JE-15S$_3$を除く機種	M10

お願い

- 垂直据付はできません。
- 本体を据付ける場合、銘板に風方向が表示してありますので吸込側と吹出側を間違えないように据付けてください。
- 振動防止のため、防振吊金具（別売品）をご使用ください。
- ドレンキャップは取付けた状態でご使用ください。
- ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。

3. 電気工事前の準備

⚠警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アースを確実に取付ける
故障や漏電のとき感電の原因。

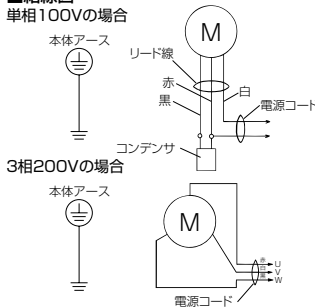
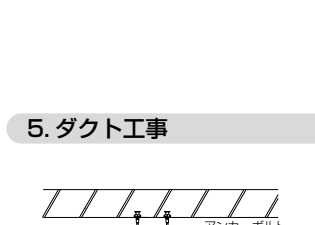
⚠注意

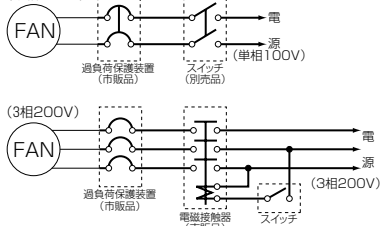
電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う
絶対に「手より接続」はしない
又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属ボックス」内にて行う
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

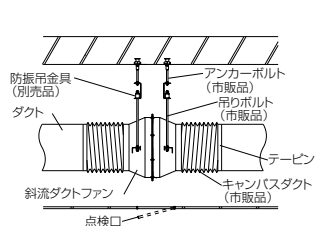
お願い

- モータの過負荷保護のため、モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）の過負荷保護装置を電気設備技術基準や内線規程に従って設置してください。過負荷保護装置は必ず機器１台ごとに取付けてください。過負荷保護装置は必ず機器１台毎に取付けてください。
  過負荷保護装置の選定は「⑧ **仕様**」の最大負荷電流の 1.2 ～ 1.5 倍程度を目安にしてください。
  ただし、製品本体に過負荷保護装置の定格表示があるものは、表示内容に従い過負荷保護装置を設置してください。
- スイッチの容量選定は起動電流×接続台数の容量としてください。また、電磁接触器を操作するスイッチ容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- ３相 200V 製品は、ダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。電源接続を間違えますと逆回転します。（風量低下の原因になります）回転方向が逆の場合は３本の電源のうち２本を入換えてください。

4. 電気工事

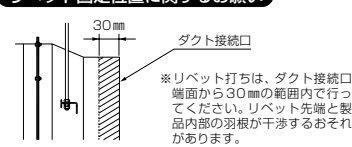
■結線図

1. 本体から出ている電源コードと電源線を接続する。
   - 製品には、単相 100V と３相 200V がありますので間違いないか確認して接続してください。
2. 電気工事士によるＤ種接地工事を行う。

■配線図　太線部分を結線する

※過負荷保護装置・電磁接触器はお客さま手配です。

5. ダクト工事

ダクトをダクト接続口にしっかり差し込みリベットなどで固定し、風漏れのないようテーピングする。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊します。
- 振動および芯ずれ防止のため、キャンバスダクトを使用します。

リベット固定位置に関するお願い

※リベット打ちは、ダクト接続口端面から30㎜の範囲内で行ってください。リベット先端と製品内部の羽根が干渉するおそれがあります。

お願い

- 吸込側または、吹出側にダクトを付けないで使用する場合は、指などが入らないように保護ガード（市販品）を取付けてください。

5 試運転

工事店さまへ

据付け、ダクト工事、電気工事終了後は、必ず試運転を行い、正常に運転できることを確認してください。

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷・いたみはありませんか。
3. 電源電圧は正しいですか。
4. 正しく結線されていますか。
5. 正しくアース工事はしてありますか。
6. 異常な振動や騒音・風漏れはありませんか。
7. 回転方向は逆ではありませんか。（3 相製品で逆転している場合、3 本の電源のうち 2 本を入換える）
8. 羽根は回転しますか、回転は遅くありませんか。（回転しないか遅い場合は、結線が正しく行われているか確かめる）

6 使用にあたって

お客さまへ

■モータの軸受けには、両シールド玉軸受が使用してありますので注油の必要はありません。
異常音、風量減少などが生じた場合は、点検のうえベアリング交換が必要です。（グリースの寿命は、約１万時間です。）
ベアリングの交換は専門の工事店に依頼してください。ただし、以下の製品についてはベアリングの交換ができません。（モータ交換となります）
JE-15S$_3$，JF-30S$_3$，JFU-30S$_3$

■羽根は、試験によってバランスが保たれていますのでていねいに扱ってください。
落したり、当てたりしないでください。

過負荷保護装置について

モータに過負荷保護装置として、温度ヒューズまたは、自動復帰形サーマルプロテクターが内蔵されているものがあります。
拘束、過負荷、欠相運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合には上記過負荷保護装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので、電源を切り原因を取り除いてください。再運転の場合には、以下を実施してください。

- 温度ヒューズ内蔵機種‥‥‥単相 100V 機種
  〈処置〉ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。
- 自動復帰形サーマルプロテクター内蔵機種‥‥‥3 相 200V 機種
  〈処置〉電源を切り、モータが冷えてから再運転してください。
  電源を切らず通電したまま放置しますとサーマルプロテクターが動作を繰り返し、接触不良や接点溶着につながるおそれがあります。この場合は、モータ交換が必要となります。電源を切り専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

ドレンキャップについて　……標準形のみ

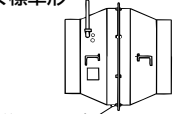
⚠注意

湿度90%以上の空気を製品内に通さない
感電や火災の原因。
製品は屋外など雨の当たる場所や湿度の多い場所（湿度90%以上）には据付けない
感電や火災の原因。
ドレンキャップを取りはずす前に必ずドレン受けを本体下部に置く
ドレンによる建物・機械などの損害の原因。
ドレンキャップは必ず常時取付けた状態で使用する
ドレンによる建物・機械などの損害の原因。

- 本製品は耐湿形ではございませんので、耐湿用途・結露環境でのご使用はできません。万一本体内部に結露が発生するおそれのある場所でお使いの場合は、定期的に専門の工事店へドレン抜き作業を依頼してください。ドレン排水後は、必ずドレンキャップを付けてください。

■ JE-15S$_3$

■ JE-15S$_3$を除く標準形

ドレンキャップ

7 アフターサービス

お客さまへ

三菱斜流ダクトファンのアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱業務用 / 産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（添付別紙）にご相談ください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

補修用性能部品の保有期間

当社は、この三菱 標準形 斜流ダクトファン、三菱 消音形 斜流ダクトファンの補修用**性能部品**を製造打切り後７年保有しています。補修用**性能部品**とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8 仕様

お客さまへ　工事店さまへ

■標準形

形　名	電　源	公称出力 (W)	極数 (P)	接続ダクト寸法 (㎜)	質量 (kg)	最大負荷電流（A）		起動電流（A）	
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
JE-15S$_3$	単相 100V50/60Hz	10	2	φ 150	4	0.3	0.33	0.39	0.39
JF-30S$_3$	単相 100V50/60Hz	20	4	φ 200	4.5	0.47	0.51	0.88	0.85
JF-65S$_3$	単相 100V50/60Hz	30	4	φ 250	7.5	0.58	0.71	0.85	0.84
JF-80S$_3$	単相 100V50/60Hz	55	4	φ 250	8.5	1.01	1.06	2.4	2.2
JF-80T$_3$	3 相 200V50/60Hz	60	4	φ 250	8	0.59	0.52	1.78	1.7
JF-100S$_3$	単相 100V50/60Hz	95	4	φ 300	14	1.37	1.78	3.1	2.8
JF-100T$_3$	3 相 200V50/60Hz	70	4	φ 300	14	0.47	0.54	1.4	1.3
JF-150S$_3$	単相 100V50/60Hz	155	4	φ 300	15	2.57	2.7	8.3	7.5
JF-150T$_3$	3 相 200V50/60Hz	140	4	φ 300	15	0.67	0.83	2.7	2.4
JF-200S$_3$	単相 100V50/60Hz	330	4	φ 325	19	2.47	3.6	8.4	7.4
JF-200T$_3$	3 相 200V50/60Hz	260	4	φ 325	19	1.08	1.27	5.3	5
JF-250S$_3$	単相 100V50/60Hz	400	4	φ 325	21	3.9	5.4	17.5	15.5
JF-250T$_3$	3 相 200V50/60Hz	400	4	φ 325	21	1.95	2	11.5	10
JF-350T$_3$	3 相 200V50/60Hz	770	4	φ 400	28.5	2.3	3.15	14.5	13.5
JF-450T$_3$	3 相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	54	3.5	5.2	24.4	21.8
JF-550T$_3$	3 相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	55.5	3.9	5.3	36	32.8

■消音形

形　名	電　源	公称出力 (W)	極数 (P)	接続ダクト寸法 (㎜)	質量 (kg)	最大負荷電流（A）		起動電流（A）	
						50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
JFU-30S$_3$	単相 100V50/60Hz	20	4	φ 200	11	0.47	0.52	0.88	0.85
JFU-65S$_3$	単相 100V50/60Hz	30	4	φ 250	17.5	0.53	0.65	0.81	0.77
JFU-80S$_3$	単相 100V50/60Hz	60	4	φ 250	17.5	1.01	1.07	2.4	2.2
JFU-80T$_3$	3 相 200V50/60Hz	60	4	φ 250	17.5	0.53	0.49	1.7	1.6
JFU-100S$_3$	単相 100V50/60Hz	80	4	φ 300	24	1.37	1.78	3.1	2.8
JFU-100T$_3$	3 相 200V50/60Hz	75	4	φ 300	24	0.46	0.54	1.4	1.3
JFU-150S$_3$	単相 100V50/60Hz	150	4	φ 300	26.5	2.15	2.6	7	6.4
JFU-150T$_3$	3 相 200V50/60Hz	145	4	φ 300	26.5	0.67	0.83	2.67	2.4
JFU-200S$_3$	単相 100V50/60Hz	330	4	φ 325	36.5	2.47	3.6	8.4	7.4
JFU-200T$_3$	3 相 200V50/60Hz	280	4	φ 325	36.5	1.08	1.27	5.3	5
JFU-250S$_3$	単相 100V50/60Hz	400	4	φ 325	39	3.9	5.4	17.5	15.5
JFU-250T$_3$	3 相 200V50/60Hz	400	4	φ 325	39	1.95	2	11.5	10
JFU-350T$_3$	3 相 200V50/60Hz	690	4	φ 400	46	2.3	3.15	14.5	13.5
JFU-450T$_3$	3 相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	78	3.5	5.1	24.4	21.8
JFU-550T$_3$	3 相 200V50/60Hz	1100	4	φ 500	79	3.9	5.3	36	32.8

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号
■平日9:00～12:00　13:00～19:00（土・日・祝を除く）
換気送風機技術相談センター　電話0120−726471